

会議記録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 23年 9月 29日(木曜日)	開催時刻	13時 30分から 14時 15分
会議名	丸子地域協議会(平成 23年度第 6回)		
出席委員	齊藤会長、北村副会長、生田委員、池内委員、内田委員、倉沢委員、笹井委員、佐藤委員、清水委員、関委員、滝澤委員、成澤委員、松山委員、丸山委員、宮下委員、村松委員、山越委員【欠席】上坂委員、中澤委員、横山委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、宮澤センター次長兼地域振興課長、下村地域振興政策幹、芹澤市民生活課長、松井健康福祉課長、矢島産業観光課長、小相沢建設課長、小林消防課長、松村上下水道課長、深井丸子学校給食センター所長補佐、大平地域政策担当係長、翠川地域政策担当主査、馬場		

会議次第

1 開会(宮澤センター次長)

- ・配布資料の確認、欠席委員の報告、緊急情報メール配信についての説明

2 あいさつ(齊藤会長)

前回協議会において、わがまち魅力アップ応援事業の専門部会が立ち上がったということで、その報告をお願いしたいと思います。

また、前回の協議会において委員提案として、丸子地域の魅力を PR する事を目的とした専門部会を立ち上げについて御意見を頂きましたので、委員の皆さんの御意見をお聞きしながら、今後どのように進めていくか決定をしていきたいと思ひます。本日も全体会終了後に専門部会をお願いしたいと思います。よろしくお祈りします。

3 報告

(1) わがまち魅力アップ応援事業に関する専門部会

【前回会議の協議内容について報告】

- ・部会長、副部会長の選任については、欠席委員がいたため、本日の部会で決定する。
- ・今後の検討テーマについて意見交換(以下 3点について、今後協議を深めていく)
 - 応募件数を増やし、地域を活性化するために、採点のあり方について検討する(アドバイスの方法、部分採択、再提出、応募の方法、選考基準の見直し等)
 - 花木に関する団体のネットワーク化に協議会として協力できないか(交流会のセッティングや同テーマで活動しているグループを結びつける)
 - 実施団体の皆さんから意見や問題点等を聞く機会を持ち、今後の採択のあり方や支援の仕方を再構築する

4 その他

(1) 丸子地域の魅力を PR する事を目的とした専門部会の設置について

【提案委員より補足説明】

丸子町であれば、町の魅力を発信していくのは当然行政がやっていくべきことだったと思うが、合併で上田市の中の丸子地域となり、丸子の PR は、丸子地域から声を出していかないとなかなか実現していかないことだと思う。丸子をもっと PR する方策として、看板を立てる、歴史を見直してパンフレットを充実させる等色々ある。そういうことを地域協議会からも発信していくための専門部会を設置してはどうかということで提案した。

主な質疑・意見の内容

(会長) 専門部会設置の可否について御意見をいただきたい。

(委員) 必要なことだと思う。ただ、周辺の事情を考慮すると、現在専門部会 1つと研究会 4つがあり、その中から部会へと移行していく研究会もあると思う。このことは、行政でも当然考えていくべきことで、今年の丸子地域自治センターの重点目標 2番目にも「地域の魅力広がる観光・温泉地づくり」とある。具体的な取組項目として「宿泊者増加につなげるプラン創出研究会」や「観光、医療、農業の協働による地域づくり研究会」等があり、その中で取り上げるのはどうか。自治センターの重点目標推進の一つの意見をよりしっかりやってほしいという意味で、行政側をお願いしてはどうか。

(委員) 何を PR していくかの検討は必要。観光だけでなく、農業に関することや工業等を含めた色々な魅力をどう関連づけて発信していくのかを話し合える機会になればいい。

(委員) 坂城には「鉄のまち」といったキャッチフレーズ的な看板がある。私が今までで一番印象深かったものは、福井県の「美川 県一の町(みかわ けんいちのまち)」の看板。このような印象に残り、存在意義を分かってもらえるような看板も良いのではないか。

(委員) 丸子地域の魅力を PR するという部分において、看板などは大事だと思う。現状でやっていただいていることや重点目標になっていることもある。その辺の情報をしっかり協議会のメンバーも把握していかなければいけない。早目にやった方がいい話でもあり、来年の予算において反映される時期に間に合うのかと思うところもあり、専門部会の設置はした方がいい。

(委員) 将来的には必要な部会だと思うが、色々な研究課題などが地域全般の多岐に渡っていることで、専門部会を作るための委員会、期限を切った委員会という形で始めてもいいのではないか。

(委員) 趣旨は非常に良い。丸子地域が埋没してしまうのではという危惧はよく分かるが、行政のやるべき面が非常に大きいのではないか。上田市として発信する中で、丸子地域のことを対外的に大きくやっていった方が効果は上がる。地域協議会で果たして専門部会を作り、行政を突き上げる形がいいのか。どちらがいいのか、結論には至らない。

(委員) とても大切な研究課題だと思うが、専門部会にする方がいいかどうかの結論にはまだ至っていない。自分たちの住む街の魅力を外にアピールしていくこと、自分の子供たちとも共有していくことはとても大切なことだと思っている。

(委員) いくつもの専門部会や研究会をこれだけの委員の中でやるのは非常に難しい。委員があっちこっち行ったり来たりで、委員自体が何をやるかわからなくなってしまう。

(委員) 魅力を PR することは必要。専門部会を設置してもいいのではないか。

(委員) もし専門部会にするのであれば、特化したものでなければいけないと思う。

(委員) 専門部会設置については賛成。魅力の PR について、皆大切なことだとは分かっているが、全体会では話が進みにくい。専門部会の中で一度案を詰め、全体会に上げてもらうのがいいのではないか。今年度の重点目標に「研究会を開催する」とあるので、こちらの研究会とも連絡を取ってやっていくのがいいのではないか。

(委員) 設置された研究会がどの程度進むか、はっきり分からない状態の中で専門部会がもう 1つ立ち上がり、また残っている研究会も部会として立ち上がった場合、果たして 3つも 4つも専門部会としてできるのか。部会設置の提案は当然必要だとは思いますが、行政側の研究会が立ち上がるのであれば、できればそちらと連携してやっていければと思う。専門部会の立ち上げは、課題をはっきりさせた上で行ってもらいたい。

(委員) 現在、専門部会も研究会もかなりテーマがはっきりしたものについて取り組んでい

る。地域の PR という観点で考えると、かなり色々な要素が入ってくる。また、このテーマは色々な関連する組織や団体との連携が必要になる。緊急に部会を作ってやるのもなかなか難しいという面と、性質上それが果たして妥当かどうかという面もある。もしやるならば、研究会で何がどう活動すればいいか、どことどう連携していけばいいかの大枠についての検討をあまり負担の掛からない形でやり、枠が見えてきたら次のステップへ入っていく方がやる人たちの負荷も軽くやれるのではないかと思う。

(委員) まずスタートし、方向修正しながらやっていくのがいいのではないか。

(副会長) 簡単に統計を取ってみると、意見としては半々。今後、専門部会として立ち上げていくためには、ある程度目的を持ち、考えて部会を立ち上げた方が、話し合いがスムーズにいくのではないかということを考えさせられた。もう少し検討したい。

(会長) 確かに研究すること、専門部会としてしっかりやっていくことは非常に必要なことだと思うが、部会としては幅が広すぎる。もう少し絞り込んだ形の中で明確なテーマにしていかなければ、漠然としてしまうのではないかという気がしている。

(委員) 以前、橋を渡ったところに「ようこそ 温泉郷へ」のゲートがあったが撤去されてしまった。真田へ行くと、大きな看板で「ようこそ 真田へ」といった PR 看板がある。丸子も地域外から来た人への PR 看板、丸子の魅力をキャッチコピーし、来た人の印象に残るような看板の設置と魅力を引き出すパンフレット作りという具体的なことを専門部会でやり、市へ上げていきたいと思う。

(会長) 以前、「鹿教湯温泉」という PR 看板がないということで、地元で色々意見交換したことがある。国道の看板は地名でなければ出せないということで、「西内」は出せるが、当時「鹿教湯温泉」は地名としては無かったので、看板に表示できないという話だった。上田市との合併の時に、「西内」の地名であった区域の一部分が「鹿教湯温泉」という地名になったという経過もある。お客さんからも非常に分かりにくいとの批判をもらうのも事実で、そういう意味では、観光的な看板、魅力を分かりやすくした看板の設置は非常に必要だと感じる。観光面でいくか、あるいは丸子地域の中の他の魅力あるものでいくか。どこにスポットを当てていくか、どこのことを研究するか、具体的になっていかなければ幅が広すぎる。観光だけでいいというわけでは決していない。確かに、既に 1 つの専門部会と 4 つの研究会が立ち上がっており、委員さんも時間を作ったりするのが大変だと思う。今日のところは、この問題を全体会終了後、専門部会に所属しない皆さんで分散会的な形で検討しまとめ、次回提案していただくということとしたい。

(2) 研究会における検討状況について (各会長より研究会での協議内容を報告)

【地域の産婦人科医療を考える研究会】

第 1 回研究会 (8 月 24 日)

- ・研究会の名称、方向性について。
- ・現状や課題を知るために、保健師や医師会、若者から話を聞くような学習会の機会を持ち進めていく。
- ・武石地域協議会も産婦人科医療に関心があるということで、武石とも連携して進める。

第 2 回研究会 (9 月 12 日)

- ・元市職員で保健師の北沢よしこさんを講師に迎え研究を進めた。
- ・地域医療の現状、上小医療圏地域医療再生計画、産婦人科医療の現状から地域のあり方を考える。その中で、東御の助産所の現状等の話を聞き、協議する。
- ・今後も、どなたかを講師に迎え話を聞き、考えていく。

【公共交通研究会】

第1回研究会（9月22日）

- ・ 研究対象は、「交通弱者、買い物弱者を解消するには」が、大きな全体のテーマ。
- ・ 今後出てきた問題については、様々な角度から討議し、研究対象に絞り込む。
- ・ 研究会の期間については、期限を決めずに行う。
- ・ まりんこ号の運行状況、千曲バス側の状況、道路状況（通行止めの場合の迂回路等）、バスの利用状況や利用目的等について、運転手の話や実際乗車した時の話を交え討議。
- ・ 決定事項は特になし。次回の開催日は本日決定する。

(3) 次回以降の会議日程について

- ・ 第7回丸子地域協議会 平成23年10月20日（木曜日）午後1時30分
丸子ふれあいステーション3階 会議室
- ・ 第8回丸子地域協議会 平成23年11月17日（木曜日）午後1時30分
丸子地域自治センター4階 講堂

(4) その他

(ア)火災発生時の緊急放送について（消防課）

前回会議の中で、丸子で発生した火災の場合に緊急放送が聞けるのは、丸子有線放送の加入者のみということでお話させていただいたが、丸子テレビ放送へ加入している方も、緊急放送用受信機が取り付けがあれば、情報を聞くことができる。この場で訂正し、関係者の皆様にお詫びしたい。

(イ)市道丸子小牧線通行規制解除のお知らせ（建設課）

丸子小牧線の仮設道路が完成し、本日6時30分に通行止めを解除した。今後も、増水等で通行止めになることも多いかと思うが、御理解いただきたい。

5 閉会 14:15 地域協議会終了後、部会等開催（講堂、第3、4会議室）